

ドライクリーニング用  
溶剤中の水分吸水マット

# MT25

MT25 はドライクリーニングの溶剤中の水を吸収して衣類の縮み、輪ジミ、色泣き等のトラブルを解消いたします。

## 使用方法

\* 10 kg機～22 kg機=1 枚使用、25 kg機～35 kg機=2 枚使用

MT25 を洗濯物と一緒にドラム内に投入し、脱液の後、洗濯物と一緒に乾燥機に入れてください。(通常の洗浄工程と一緒に入れていただくだけです)

## 特徴

- MT25 は自重の 40～50 倍の水を吸水し、多少の圧力をかけても離しません。
- MT25 は洗濯物と一緒に洗うことにより、品物や外気等から取り込まれた余分な水分をベースタンクに落とすことをかなりの割合で防止できます。
- MT25 は溶剤中のソープをほとんど吸着しません。
- MT25 は乾燥することにより水分を脱着し繰り返し使用できます。
- MT25 で水分を除去することにより、エレメントの寿命が今までよりも長くなります。

## ご注意

MT25 は吸湿性の高い繊維ですので長期間外気に触れたままにしておくと固くなりますのでポリ

袋に入れて保存してください。

使用期間 \* 1 枚当たりドラム回転数 500 ワッシャー又はご使用後 4 カ月

株式会社白栄化学工業

〒535-0031 大阪市旭区高殿 3-8-22

TEL06-6954-5171

FAX06-6954-4639

# 水分吸水マット「MT25」の効果！！

ドライクリーニングでの水分吸水マット「MT25」使用効果をご理解いただくために特徴をご紹介します。

- ご使用方法として洗濯物（品物）と一緒に洗濯、乾燥をするだけなので使用していただく上での手間はかかりません。
- ドライクリーニングの溶剤中の水を吸収して衣類の縮み、輪ジミ、色泣き等のトラブルを解消いたします。
- 洗濯物（品物）や外気等から取り込まれる余分な水分をベースタンクに落とすことをかなりの割合で防ぎます。ベースタンクに水分を落とさないことで溶剤のトラブルの原因の水分過多による白濁や異臭なども防ぎます。
- 水分を除去することで水分によるフィルター（濾紙部）の負担が減少しフィルターの寿命が今までよりも長くなります。
- 乾燥機にかけることで吸水していた水分をリセットし、繰り返しご使用いただけるのでコストを抑えられます。
- 水分除去のために行っている作業（タオルケット洗浄等）が無くなり、洗浄工程に専念できるため、時間の短縮につながります。
- 水分の多いソープを使用している工場で商品テストを重ねてきましたが特別汚れ落ちが悪くなるなどのトラブルも報告されておりません。（以前ベースタンクの水分率が1000ppm以上の所から使用後300ppm～500ppmで落ち着く）

このように、「MT25」をご使用いただくことにより洗浄性能を邪魔することなくドライクリーニング溶剤中の水分除去が簡単にでき、今まで行っていた水分除去作業が無くなりコスト面での改善も図れます。

コスト面削減での簡単な例として

- タオルケット等水分除去作業に必要な物を用意、保管しなくて済む。
- 水分除去作業が無くなることで時間短縮、人件費の削減  
人件費削減例

水分除去方法：タオルケット洗浄

午前1回

洗浄、脱水工程：10～15分

乾燥工程：30分

午後1回

洗浄、脱水工程：10～15分

乾燥工程：30分

\* 1日1回タオルケット洗浄の場合約45分

\* 1日2回タオルケット洗浄の場合約90分

ぜひこの機会にご使用ください。

## ドライクリーニング用途でのMT25と綿タオルケットの吸水性能比較

弊社の新製品であります「MT25」はドライクリーニング溶剤中の水分吸水材として使用されております。この「MT25」の吸水性能の素晴らしさを理解して頂くために以下の様なテストを行いました。

(テストに用いた試料)

綿 100%のタオルケット (305g/m<sup>2</sup>)

MT25 不織布 (140g/m<sup>2</sup>)

(テスト1)

テスト方法: 各試料を 10 cm × 10 cmの大きさにカットし、30 分間純水に浸漬する。その後そのシートを 1 分間垂直に吊り下げて水切りする(吊り下げ法)、又、300Gの力で 5 分間遠心分離機で遠心脱水する(脱水法)、それら水切り、脱水後重量を計り吸水前の重量と比較する。

結果:

綿タオルケット	5.7ml/g	0.8ml/g
MT25	79ml/g	53ml/g

このデータからMT25 は、その不織布の重量 1gにつき 79cc(吊り下げ法)及び 53cc(脱水法)の水を吸水しているのに反し、綿タオルケットではその重量 1gにつき僅か 5.7cc(吊り下げ法)及び 0.8cc(脱水法)しか吸水していないことがわかります。

MT25 は重量当たり綿タオルケットの実に 14 倍(吊り下げ法)もの吸水する能力があります。また遠心脱水すると綿タオルケットは吸水した水の大半が流出してしまっ 14%程度しか保水力が残っていないのに対して、MT25 では67%もの水が尚、保水されています。このことは少々のが圧力がかかってもMT25 は一旦吸水した水は離さないことを示しています。

(テスト 2)

テスト方法: 次に現実にドライクリーニング溶剤中での水の吸水力をしるために次の様なテストを行いました

(試液) ゴールに対し 0.5%ソープをチャージし、それに水分率 2100ppmになる様に水を加え十分に攪拌する。

(シート) ほぼ同じ大きさと重量になる様に試料を切って濾過槽を作る。即ちMT25 は綿タオルケットの約半分の重量なので綿タオルケットは 1 層、MT25 は 2 層になる。

(濾過) 試液をそれら試料の層に通して流し、濾過後の水分率を計る。この濾過を何回か繰り返してその都度その試液の水分率を計る。

結果:

濾過回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
MT25 (ppm)	2160	1150	1020	920	790	640	570	400	320
綿タオルケット (ppm)	2130	1700	1610	1540	1390	1300	1300	1250	1230

この結果より、綿タオルケットは 1 回目の濾過の時は若干水分を吸収しますが、その後はほとんど吸水能力を示さないのに反し、MT25 はソープの入ったゴール中の水分もどんどん吸水します。したがってドライクリーニングでは水分吸水材としては綿タオルケットに比べてはるかに有益な材料であるということが明らかだといえるでしょう。